

欄に数値またはコメントを記入(3点を上回る得点を与える評価項目は解説シートでの採点を必須とする)

スコアシート

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
0 建築物の環境品質・性能						3.7
Q-1 室内環境			0.40			3.8
1 音環境		3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 騒音		-	-	-	-	
1 1 暗騒音レベル		3.0	-	3.0	-	
1 2 設備騒音対策		3.0	-	3.0	-	
1.2 遮音		3.0	0.70	-	-	
1 1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	-	
1 2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	-	
1 3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
1 4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音		3.0	0.30	3.0	-	
2 温熱環境		3.6	0.35	-	-	3.6
2.1 室温制御		3.4	0.50	-	-	
2 1 室温設定		3.0	0.30	3.0	-	
2 2 負荷変動・追従制御性		3.0	-	3.0	-	
2 3 外皮性能	low-e + 庇 + エアバリアシステム	5.0	0.20	3.0	-	
2 4 ゾーン別制御性		3.0	0.50	3.0	-	
2 5 温度・湿度制御		3.0	-	3.0	-	
2 6 個別制御		3.0	-	3.0	-	
2 7 時間外空調		3.0	-	3.0	-	
2 8 監視システム		3.0	-	3.0	-	
2.2 湿度制御	加熱加湿付全熱交換器による加湿	5.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境		3.9	0.25	-	-	3.9
3.1 昼光利用		3.4	0.30	-	-	
3 1 昼光率		3.0	0.60	3.0	-	
3 2 方位別開口		3.0	-	3.0	-	
3 3 昼光利用設備	昼光センサーによる調光	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 グレア対策		5.0	0.30	-	-	
3 1 照明器具のグレア		3.0	-	3.0	-	
3 2 昼光制御	昼光センサーによる調光	5.0	1.00	3.0	-	
3.3 照度		4.0	0.15	-	-	
3 1 設計照度	600グリット照明で1000lx出すことが可能	4.0	1.00	3.0	-	
3 2 照度均斉度		3.0	-	3.0	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-	
4 空気質環境		4.5	0.25	-	-	4.5
4.1 発生源対策		5.0	0.50	-	-	
4 1 化学物質汚染	F を全面的に採用	5.0	1.00	3.0	-	
4 2 鉱物繊維対策		3.0	-	3.0	-	
4 3 ダニ・カビ等		3.0	-	3.0	-	
4 4 レジオネラ対策		-	-	3.0	-	
4.2 換気		4.0	0.30	-	-	
4 1 換気量	25m3/人の外気量を見込んでいる	4.0	0.33	3.0	-	
4 2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-	
4 3 取り入れ外気への配慮	給気は屋上より取り入れている	5.0	0.33	3.0	-	
4 4 給気・排気ダクト計画		3.0	-	3.0	-	
4.3 運用管理		4.0	0.20	-	-	
4 1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-	
4 2 喫煙の制御	喫煙・非喫煙のリフレッシュコーナーが各階にある	5.0	0.50	-	-	
Q-2 サービス性能			0.30			3.9
1 機能性		3.8	0.40	-	-	3.8
1.1 機能性・使いやすさ		3.7	0.60	-	-	
1 1 広さ・収納性		3.0	0.33	3.0	-	
1 2 情報設備への建築・設備的対応	70V A / m ² を確保	5.0	0.33	3.0	-	
1 3 バリアフリー計画		3.0	0.33	3.0	-	
1.2 心理性・快適性		4.0	0.40	-	-	
1 1 広さ感・景観	天井高2.7m以上	4.0	0.33	3.0	-	
1 2 リフレッシュスペース	喫煙・非喫煙のリフレッシュコーナーが各階にある	5.0	0.33	3.0	-	
1 3 内装計画		3.0	0.33	3.0	-	
2 耐用性・信頼性		3.8	0.31	-	-	3.8
2.1 耐震・免震		3.8	0.48	-	-	
2 1 耐震性	基準法の25%増	4.0	0.80	-	-	
2 2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.6	0.33	-	-	
2 1 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.29	-	-	
2 2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.12	-	-	
2 3 配管・配線材の更新必要間隔	配管SUSを採用	5.0	0.29	-	-	
2 4 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.29	-	-	
2.3 信頼性		4.4	0.19	-	-	
2 1 空調・換気設備	電気室・クイックコーナー機械室などが発電機回路となつて	5.0	0.20	-	-	
2 2 給排水・衛生設備	節水型機器・受水槽の2槽化など	5.0	0.20	-	-	
2 3 電気設備	非常用発電機・無停電電源設備あり	5.0	0.20	-	-	
2 4 機械・配管支持方法	耐震クラスAランク	4.0	0.20	-	-	
2 5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	

建物全体	住居・宿泊
解説シート の採点結果	解説シート の採点結果

3.0	3.0
-	-

3.0	3.0
3.0	3.0
3.0	3.0
3.0	3.0
3.0	3.0

3.0	3.0
3.0	
5.0	3.0
3.0	
3.0	3.0
3.0	
3.0	3.0
5.0	3.0
3.0	3.0

3.0	3.0
4.0	3.0

3.0	3.0
5.0	3.0

4.0	3.0
3.0	3.0
3.0	3.0

5.0	3.0
3.0	3.0
3.0	3.0
3.0	3.0

4.0	3.0
3.0	3.0
5.0	3.0
3.0	3.0

3.0
5.0

3.0	3.0
5.0	
3.0	

4.0	3.0
5.0	
3.0	3.0

4.0
3.0

3.0
3.0
5.0
3.0

5.0
5.0
4.0
4.0
3.0

3 対応性・更新性			4.1	0.29	-	-	4.1
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31	-	-	
1	階高のゆとり	階高3950以上	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 190/1730 = 0.11	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり		5000N/m ²	5.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q-3 室外環境(敷地内)				0.30	-	-	3.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		建築学会等と協議を行い、外観デザインを決定	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	屋上緑化、空冷機器を最上階に設置	4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	3.7
LR-1 エネルギー				0.40	-	-	3.9
1 建築物の熱負荷抑制		low-e + 庇 + エアバリアシステム	4.0	0.30	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		R410A冷媒仕様の空冷PACの採用、照明制御等	5.0	0.30	-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR-2 資源・マテリアル				0.30	-	-	3.4
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水	節水型機器 + 擬音装置	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水利用システム		3.0	0.33	-	-	
2 低環境負荷材			3.4	0.85	-	-	3.4
2.1	資源の再利用効率		3.0	0.35	-	-	
1	躯体材料の再利用効率		3.0	0.67	-	-	
2	非構造材料の再利用効率		3.0	0.33	-	-	
2.2	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.04	-	-	
2.3	健康被害のおそれが少ない材料	F を全面的に採用	5.0	0.08	-	-	
2.4	既存建築躯体などの再利用		3.0	0.18	-	-	
2.5	部材の再利用可能性	ルーバー再利用可能	4.0	0.18	-	-	
2.6	フロン・ハロンの回避		3.3	0.18	-	-	
1	消火剤	フロンを一切使用しない	4.0	0.33	-	-	
2	断熱材		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR-3 敷地外環境				0.30	-	-	3.8
1 大気汚染防止			3.0	0.15	-	-	3.0
2 騒音・振動・悪臭の防止			4.5	0.15	-	-	4.5
2.1	騒音・振動	低騒音型設備機器の採用 + 駐車場の位置への配慮	4.0	0.50	-	-	
2.2	悪臭	オゾン脱臭器をこみ置き場に設置	5.0	0.50	-	-	
3 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.15	-	-	3.0
4 光害の抑制		広告塔の夜間照明の適度な照度	4.0	0.10	-	-	4.0
5 温熱環境悪化の改善		日射吸収率の低い外壁材料の採用	4.0	0.30	-	-	4.0
6 地域インフラへの負荷抑制		駐車場利用の利便性の確保	4.0	0.15	-	-	4.0

5.0	3.0
4.0	3.0
5.0	3.0

3.0
3.0
3.0
3.0
3.0
3.0

1.0
5.0

2.0
4.0

4.0

3.0
3.0
5.0

3.0
3.0

4.0

3.0
3.0

3.0
3.0
3.0
5.0
3.0
5.0

4.0
3.0
3.0

3.0

4.0
5.0
3.0
4.0
4.0
4.0

■ LR-1 用途別得点表		事務所	-	-	-	面積按分 総合スコア
		15988 m ²	-	-	-	
1	建築物の熱負荷抑制	4.0	-	-	-	4.0
3	設備システムのERRによる評価	5.0	-	-	-	5.0
	高効率化 個別設備による評価	-	-	-	-	
3.1	空調設備	4.0	-	-	-	-
3.2	換気設備	5.0	-	-	-	-
3.3	照明設備	5.0	-	-	-	-
3.4	給湯設備	-	-	-	-	-
3.5	昇降機設備	5.0	-	-	-	-